

一般社団法人
くすりの適正使用協議会

RAD-AR 活動とは

医薬品に本来備わっているリスクとベネフィットを科学的、客観的に評価、検証し、その結果を社会に提示することで医薬品の適正使用を促し、患者さんのメリットに寄与するという一連の活動をいいます。

この活動の契機は、1980年代のマスコミによる製薬企業の販売姿勢に対する批判にあります。それは、製薬企業は医薬品のリスクを矮少化しベネフィットを強く主張しているというものでした。

その渦中のある企業が、その解決を図るための方策を探ろうと提唱し、スイスの都市に世界の主要企業が一堂に会し、議論し得られた結論が RAD-AR 活動なのです。

因みに、RAD-AR とは Risk/Benefit Assessment of Drugs-Analysis and Response の略称です。

事業内容

- 社会貢献に関するもの
医薬品リテラシー*の育成と活用に取り組みます
- 会員貢献に関するもの
会員にとって社会的認知が高まる活動とします

* 医薬品リテラシー
医薬品の本質を理解し、医薬品を正しく活用する能力

医薬品に関する利害関係者が一堂に会し、医薬品情報を収集し、評価し、提供する。

また、その情報が正しく患者・医療消費者に届けられているかを追跡し、患者・医療消費者が正しく理解し、自分のものになっているかを確認するという、一連の新しい活動です。

医薬品の適正使用の啓発が医薬品提供側のCSR(社会的責任)であることは言うまでもありませんが、その役割はますます広がりつつあります。

個別企業における安全対策を目指した「適正使用」はかなり進んでいると思っています。25年積み重ねてきましたRAD-AR活動について、具体的な活動の費用対効果はいかがかと考える時代に入ったと言えるかもしれません。

一方、これからの時代に向けて新たな局面へと進んでいると思われれます。多くの規制がある医薬品として、ファーマコビジランス、リスクマネジメントと安全対策を中心に、医療の提供側の対応は進んでいるかもしれませんが、ステークホルダーとして患者・国民には依然としてその安全対策を自分のものにする医薬品リテラシー(能力)は十分に育っておらず、提供側に比べ取り残されている部分も相当あるものと思われれます。

自分の体は自分で守るという意識が徐々に大きくなりつつあり、医療においても情報過多の時代に突入しており、新たなギャップが生まれようとしています。今後、更に高齢化が進み、医療資源の制約が厳しくなる日本社会にとって国民一人一人に健康や医療に関する健全な関心をもってもらうことが重要なことではないかと思います。

RAD-AR活動の今後について、企業市民として製薬企業が行うべきことから発して、「医薬品に関する利害関係者が一堂に会し、医薬品情報を収集し、評価し提供する、また、その情報が正しく患者・医療消費者に届けられているかを追跡する、患者・医療消費者が正しく理解し自分のものとしているかを確認するといった一連の活動」とし、当協議会はその先頭に立ち、イニシアティブを取って展開したいと考えております

会員の皆さんで意見を交わしていただいて、一緒になって医薬品の適正使用啓発活動の今後を考えようではありませんか。よろしく願います。

医薬品を正しく理解し用いることを通して、 人の健康保持とQOLの向上に寄与します。

一般社団法人くすりの適正使用協議会(以下「協議会」といいます)は、時代の求めを先取りし、医薬品の立場から、人の安全で品質の優れた医療に貢献する活動を展開します。

そのために、組織基盤を固め、情報発信、啓発活動、広報活動等を行い、協議会の認知を上げていくとともに、賛同者(以下「会員」といいます)の拡大を図り、社会に対する医薬品の適正使用を促し、会員自身及び会員が所属する組織にも貢献する活動を企画・立案・実行していきます。

■入会方法

ご入会につきましては、申込書にご記入の上、くすりの適正使用協議会事務局にご郵送ください。

後日、会費納入のご請求書をお送りします。会費を納入していただいた方には、会の詳細についてご説明を行います。

一般社団法人 くすりの適正使用協議会

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-4-2 日本橋 Nビル 8F

TEL : 03-3663-8891 FAX : 03-3663-8895

E-mail : info@rad-ar.or.jp

■ 会員

製薬企業会員

本会の目的に賛同する製薬企業

個人会員

本会の目的に賛同する個人

賛助会員

本会の目的に賛同する団体ならびに製薬企業以外の企業

■ 年会費

製薬企業会員

4,500,000 円*

個人会員

10,000 円

賛助会員

500,000 円 (1 口)

*但し、中期計画 2017-2019 期間中の新入会企業会員は 3,000,000 円

■ 会員一覧

製薬企業会員 (23 社 五十音順)

旭化成ファーマ(株)	アステラス製薬(株)	アストラゼネカ(株)
アッヴィ(同)	エーザイ(株)	大塚製薬(株)
キッセイ薬品工業(株)	協和発酵キリン(株)	興和(株)
サノフィ(株)	塩野義製薬(株)	第一三共(株)
大正製薬(株)	大日本住友製薬(株)	武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)	中外製薬(株)	東和薬品(株)
日本新薬(株)	ノバルティス ファーマ(株)	ノボ ノルディスク ファーマ(株)
マルホ(株)	Meiji Seika ファルマ(株)	

賛助会員 (6 社 五十音順)

(株)EM システムズ	(株)グッドサイクルシステム	シミック(株)
(株)ズー	ソニー(株)	日本 OTC 医薬品協会

個人会員 (5 名)

sample

平成 年 月 日

一般社団法人 くすりの適正使用協議会
[製薬企業会員]入会申込書

一般社団法人 くすりの適正使用協議会
理事長 黒川 達夫 殿

会社名	
(英文)	
代表者名	①
(英文)	
会社住所	〒
(英文)	

当社は、一般社団法人 くすりの適正使用協議会の定款とその他を諒承の上、貴協議会に入会いたしたく
申し入れます。

sample

概況書

社名				
代表者	氏名			
	役職名			
資本金		設立年月日		
本社所在地 TEL/FAX	〒			
	TEL		FAX	
従業員数	総数			
総売上高 (年度)				
うち医薬品 売上高				
加盟製薬団体名				
本件の担当者	氏名			
	所属		役職	
	TEL		FAX	
	E-mail			
備考				



一般社団法人

くすりの適正使用協議会

〒103-0012

東京都中央区日本橋堀留町 1-4-2 日本橋 Nビル 8F

TEL : 03-3663-8891 FAX : 03-3663-8895

<http://www.rad-ar.or.jp/> E-mail : info@rad-ar.or.jp
